

Brutish and Beautiful

動物たちの
森の
美術の



近代日本画の
動物表現

2022 6.4(土) ▶ 8.28(日)

開館時間=10:00~17:00(入館は16:30まで)

休館日=月曜日[ただし7月18日(月・祝)は開館し、翌19日(火)を休館]

入館料=一般1,000円 高大生500円 中学生以下無料

※障がい者手帳などをお持ちの方は半額。介添えの方は1名無料。※20名以上の団体は各200円引き。

[タクシー来館特典] タクシーでご来館の方、タクシー1台につき1名入館無料。

※当館ご入場の際に当日のタクシー領収書を受付にご提示ください。

主催=海の見える杜美術館 後援=広島県教育委員会、廿日市市教育委員会

[図版] (右上より時計回りに) 西山翠峰《虎》(二曲一双のうち右隻) 明治時代、西村五雲《梅雨霽れ》1938年(昭和13)、西村五雲《野分》大正~昭和時代初期、幸野椋嶽《馬猿図》(六曲一双のうち右隻) 1877年(明治10)、西村五雲《残雪飢狐》1903年(明治36)、幸野椋嶽《馬猿図》(六曲一双のうち左隻) 1877年(明治10)、西村五雲《後庭秋興》大正~昭和時代初期、望月玉溪《春野野狐之図》1920年(大正9)頃、西村五雲《獅子》1907年(明治40) ※すべて部分

海の見える杜美術館
learn from nature and pursue art & culture

Animal Depictions in Modern Japanese Painting

美術の森の動物たち



近代日本画の動物表現

動物は絵画における主要なテーマの一つです。彼らは狩猟の対象として、家畜として、愛玩動物として私たちの生活と切り離せない存在であり、かつ崇拜の対象でもありました。その密接な関わりを示すように、古来、日本においても絵画に描かれ続けてきました。

近世以前においては、動物は特別な力を備えていたり、長寿や出世などのおめでたい意味を持つ存在として描かれました。明治以降は、そうした伝統を引き継ぎつつも、画家が動物に注ぐ眼差しに変化が起きます。

例えば1900年(明治33)に渡欧した先で本物のライオンを見た竹内栖鳳(1864~1942)は、現実のありようを重視してその姿を描きました。美術館や博物館などの施設と共に動物園が整備され、画家に実物を見て学ぶ機会を広く与えたことも興味深いことです。さらに時代が進むと、動物の生きる姿に自己を投影し作品に描く画家も現れます。本展覧会では、主に明治から昭和にかけての画家たちが描いた動物絵画を展覧し、近代以降、動物がどのように人々に見られ、動物を描くことがどのような意味を持っていたかをご覧ください。



1



2



3

- 1 竹内栖鳳《獅子》1901年(明治34)頃
- 2 西村五雲《後庭秋興》大正~昭和時代初期
- 3 川端龍子《春椽愛狗》1941年(昭和16)
- 4 西村五雲《残雪飢狐》1903年(明治36)



4



イベント情報

当館学芸員によるギャラリートーク

[日時]6月11日(土)、7月23日(土)、8月20日(土)
13:30~(45分程度)

[会場]海の見える杜美術館展示室

[参加費]無料(ただし入館料が必要です)*事前申し込み不要

同時開催

竹内栖鳳展示室「栖鳳の師・幸野椋嶺」

竹内栖鳳は、幸野椋嶺(1844~1895)の画塾・幸野私塾で学びました。椋嶺は栖鳳以外にも多くの弟子を育てたことで知られ、塾生の学習のために多くの絵画資料を収集し、それらは栖鳳をはじめとする弟子たちに受け継がれました。今回の展示では栖鳳と椋嶺の作品のほか、新規に収集した幸野私塾資料も展示し、多くの画家を育てた師・椋嶺をご紹介します。

幸野椋嶺《煎茶蓬帖》
1876年(明治9)



香水瓶展示室

海の見える杜美術館が、長年にわたり収集および調査をいたしました香水瓶コレクションより、厳選した香水瓶をいつでもご覧いただけます。



《アラ・レーヌ・デ・ザベイユ(ミツパチの女王に)》
ヴィオレ社 フランス、1840年頃

夏休み企画① ミニ屏風を作ろう!

[日時]8月13日(土)13:00~(所要時間・2時間程度)

[会場]海の見える杜美術館 多目的室

[定員]5名(小学生高学年以上推奨、要事前申し込み)

[参加費]1,200円(ただし、別途入館料が必要です)

[申し込み方法]お電話かメールにてお申込みください。

その際、参加者のお名前と電話番号をお知らせください。

なお、先着順にて定員に達し次第締め切りとさせていただきます。

Tel:0829-56-3221 メールアドレス:info@umam.jp

(件名に「ワークショップ参加希望」とご記入ください)



夏休み企画② 鑑賞シートで動物の絵をもっと知ろう!

夏休み期間中、小学生向けに展覧会を楽しく鑑賞するためのシートを会場でお配りします。

ご来館の皆さまへ

当館では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため対策を行っております。ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。臨時休館や、イベントを中止・変更する場合がございます。詳しくは、当館ホームページをご覧ください。



《アクセス情報》
山陽本線「宮島駅」または広島電鉄「広電宮島駅」からタクシーで約10分
山陽自動車道「大野I.C.」から車で約10分

海の見える杜美術館
learn from nature and pursue art & culture

〒739-0481 広島県廿日市市大野亀ヶ岡10701 Tel:0829-56-3221
E-mail:info@umam.jp https://www.umam.jp